

2019年度第3回価格審査会の開催について

2019年度第3回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、当財団の価格情報誌の発行前にその掲載価格の妥当性等について、外部の有識者によって審査を行うものです。

開催日時	2019年6月14日(金) 10:00 ~ 11:30	
場 所	一般財団法人建設物価調査会 会議室	
委 員	田中 弘	日本工営株式会社 技術本部 専門顧問 技師長
	江川 浩	東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長
	関口 司	東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 次長
	桜井 力	一般財団法人日本建設情報総合センター コリンズ・テクリスセンター長
	柳 泰彦	株式会社日本設計 コスト設計部長
当 会	共通資材調査部	部長：大谷 忠広、次長：川野辺 豊、課長：小林 法雅
	建築調査部	部長：足利 全教、次長：渡辺 弘一、課長：高梨 卓司
	監査審査室	室長：後藤 裕
	調査統括部(事務局)	部長：神田 尚昭、課長：菊池 信博

2019年度第2回価格審査会議事録(案) 確認

2019年度第3回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1.	「建設物価」7月号、「Web 建設物価」7月号、「土木コスト情報」夏号、「建築コスト情報」夏号の価格動向
・	価格が上昇した資材は、摩擦接合用高力ボルト(全都市)、セメント【バラ】(札幌、釧路、千葉)、レディーミクストコンクリート(滝川、深川、銚子、小松、宮津、総社、竹田、豊後大野)、道路用砕石・割りぐり石・砂(郡山、白河、本宮、古殿)、アスファルト混合物・再生アスファルト混合物(大津、彦根、長浜、甲賀、高島)、コンクリート擁壁(札幌)、種子(全都市)、ガス【ヘリウム】(札幌、新潟、金沢、高松、福岡、熊本)などであることを説明。
・	価格が下落した資材は、異形棒鋼(関東の各都市)、伸銅品(全都市)、コンクリート型枠用合板(関東、中部の各都市)、電線(全都市)、燃料油【軽油ローリー渡し】(北海道、近畿、九州、沖縄除く各都市)、鉄スクラップ【鉄】(富山、金沢除く各都市)、非鉄スクラップ【銅】(全都市)などであることを説明。
・	価格が上伸した工事費は、【土木コスト】鉄筋工(近畿各都市)、道路標識設置工(全都市)、区画線工(北海道、東北を除く全都市)、橋梁塗装工(北海道、東北を除く全都市)、排水構造物工(北海道、東北を除く全都市)、【建築コスト】型枠工事(新潟、富山、金沢、那覇)、内装ボード工事(那覇除く全都市)、ケーブルラック工事(仙台、新潟、高松、那覇除く全都市)、土工事(札幌除く全都市)などであることを説明。
・	価格が下落した工事費は、【土木コスト】区画線工(北海道)、橋梁塗装工(北海道)、排水構造物工(北海道)、【建築コスト】絶縁電線工事の一部(那覇除く全都市)、配線工事の一部(那覇除く全都市)などであることを説明。

審議資料の説明

2. 注目資材

- ・ 異形棒鋼【東京】
- ・ 電線管工事【東京】

3. 比較資料

- ・ 企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 1	TV報道でも高力ボルトが取り上げられているが、現在どのような状況か。	7月号で価格は上伸している。需給はひっ迫しており供給難に変わりはなく、今のところこれらが解消される目途は立っていない。
審議 2	「建設物価」、「土木コスト情報」、「建築コスト情報」の大きな違いは何か。	「建設物価」は建設資材の材料単価を中心に掲載しており、「土木コスト情報」、「建築コスト情報」は材料費、労務費、機械経費などを含む施工単価を工種ごとに掲載している。
審議 3	軽量鉄骨下地工事と内装ボード工事の最大変動率が10%とあるが、対象地区はどこか。	東京10%、札幌9%台と、大きく変動したのはこれら二つの地区である。
審議 4	前回の議事録で甲府地区の生コン協組が1月に13,500円の値上げを表明したとあるが、今月号で価格は変動していない。値上げを表明しただけということなのか。	甲府地区では、今年1月に協組が値上げを打ち出したが、新年度入り後の新規物件が少ないこと等から浸透しておらず、今も値上げ交渉は続いている。
審議 5	「土木コスト情報」では、土木工事市場単価と土木工事標準単価をどのような考え方で区分しているのか。	土木工事市場単価は、国土交通省が主導して導入した積算方式で、成立3要件を満足した工種を対象とし、元下間の取引価格を調査し掲載している。一方、土木工事標準単価は、国土交通省の積算基準書に掲載のない工種のなかで、ユーザーからの要望の多い工種などを当会が選定し、独自に歩掛を調査し、材料費、労務費、機械経費を積み上げて都道府県別に掲載している。
審議 6	宮津地区の生コンが2,500円上伸している。隣の地区では既に先月上伸したという説明があったが、この地区で何か特別な需要があったのか。そもそも生コンは地区毎に価格変動があるものなのか。	宮津地区では、海岸堤防整備や災害復旧関連の需要が旺盛で、2018年度の出荷量は前年度比で約4割増えている。生コンは運搬時間の制限から他地区より持ち込むことが難しいため、各地区で独自の市況が形成される。また、各地区で協同組合による共同販売が行われることも多く、最も地域性の強い資材と言われている。
審議 7	生コンについて、中国の総社地区と四国の大洲地区を「先行き強含みの見通し」と判断した理由は。	総社地区、大洲地区ともに、協組が値上げを打ち出し需要家と交渉しているが、昨年度の西日本豪雨の災害復旧工事向け需要が増加し需給がひっ迫していること、需要家に値上げの受け入れやむなしとの声が出始めていることなどから「先行き強含み」と判断した。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 8	土木工事標準単価では、工種単位で上げ下げが混在しているが、各工種とも変動率が小さく、前回とそれほど変動がなかったと理解して良いか。	土木工事標準単価で使用している材料費（軽油など）の変動を反映している。地区により上げ下げが混在し、その変動率は小さい結果となっている。
審議 9	種子の原産国はどこか。	日本に入ってくる種子の原産国には、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、中国などがある。世界的な異常気象やシェールオイル開発による種子畑の減少などによる種子の生産量の減少が深刻化しており、今回の単価変動に影響した。
審議結果	「建設物価」7月号、「Web 建設物価」7月号、「土木コスト情報」夏号、「建築コスト情報」夏号の価格動向に問題はなかった。	

以 上